

**製品名: Shb ウサギポリクローナル抗体****カタログ番号: APRab17854**

研究使用のみ

**概要**

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ELISA
反応性	ヒト、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:50-1:300,ELISA 1:2000-1:20000
分子量	55kDa

**抗原情報**

遺伝子名	SHB
別名	SHB; SH2 domain-containing adapter protein B
遺伝子 ID	6461.0
SwissProt ID	Q15464
免疫原	抗血清はヒト SHB 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 411-460

**背景**

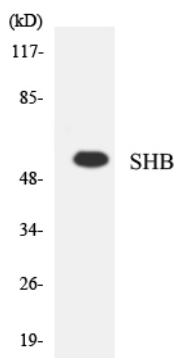
ドメイン :SH2 ドメインは、コンセンサス配列 Y-[TVI]-X-L を持つリン酸化ペプチドに優先的に結合し、PDGFRA、PDGFRB、FGRFR1、IL2RB、IL2RG、CD3Z、CRK/CrKII との相互作用を媒介します。機能:活性化受容体を下流のシ

グナル伝達成分に連結することで、いくつかのシグナル伝達カスケードを制御するアダプタータンパク質。FGFR1、VEGFR2、PDGFRシグナル伝達を制御することで、血管新生に関与している可能性があります。また、塩基性 FGF および NGF 誘導シグナル伝達カスケードを媒介することで、T細胞抗原受容体/TCRシグナル伝達、インターロイキン-2シグナル伝達、アポトーシス、神経細胞分化にも関与している可能性があります。インスリン産生細胞における IRS1 および IRS2 シグナル伝達も制御する可能性があります。PTM:PDGFRA、PDGFRB、TCR、IL2 受容体、FGRF1 または VEGFR2 の活性化時にリン酸化されます。類似性:1 つの SH2 ドメインを含みます。細胞内位置:TCR 刺激時に膜脂質ラフトと関連します。サブユニット:PTPN11 と相互作用します (類似性による)。リガンド活性化受容体 PDGFRA のリン酸化 [Tyr-720] と SH2 ドメインを介して相互作用します。リガンド活性化受容体 PDGFRB、FGFR1、KDR/VEGFR2、IL2RB および IL2RG と相互作用します。EPS8 および V-SRC と相互作用します。GRB2 および GRAP と相互作用します。CD3Z と相互作用します。ZAP70、LCP2/SLP-76、VAV1、GRAP2 と相互作用します。JAK1 および JAK3 と相互作用します。PTK2/FAK1 と相互作用します。CRK/CrKII と相互作用します。IRS2 と相互作用します。組織特異性: 広く発現しています。ドメイン: SH2 ドメインは、コンセンサス配列 Y-[TVI]-X-L を持つリン酸化ペプチドに優先的に結合し、PDGFRA、PDGFRB、FGRFR1、IL2RB、IL2RG、CD3Z、CRK/CrKII との相互作用を媒介します。機能: 活性化受容体を下流のシグナル伝達成分に連結することにより、いくつかのシグナル伝達カスケードを制御するアダプタータンパク質です。FGFR1、VEGFR2、PDGFRシグナル伝達を制御することで、血管新生において役割を果たす可能性があります。また、塩基性 FGF および NGF 誘導シグナル伝達カスケードを媒介することにより、T細胞抗原受容体 / TCR シグナル伝達、インターロイキン 2 シグナル伝達、アポトーシス、および神経細胞の分化にも関与している可能性があります。インスリン産生細胞の IRS1 および IRS2 シグナル伝達も制御している可能性があります。PTM:PDGFRA、PDGFRB、TCR、IL2 受容体、FGRF1、または VEGFR2 の活性化時にリン酸化されます。類似性:1 つの SH2 ドメインを含みます。細胞内位置:TCR 刺激時に膜脂質ラフトと関連します。サブユニット:PTPN11 と相互作用します (類似性による)。リガンド活性化受容体 PDGFRA のリン酸化 [Tyr-720] と SH2 ドメインを介して相互作用します。EPS8 および V-SRC と相互作用する。GRB2 および GRAP と相互作用する。CD3Z と相互作用する。T細胞抗原受容体活性化時にチロシンリン酸化 LAT と相互作用する。PLCG1 と相互作用する。ZAP70、LCP2/SLP-76、VAV1、GRAP2 と相互作用する。JAK1 および JAK3 と相互作用する。PTK2/FAK1 と相互作用する。CRK/CrKII と相互作用する。IRS2 と相互作用する。組織特異性: 広く発現している。

## 研究分野

シグナル伝達; アダプター; 細胞質; 幹細胞; 胚性幹細胞; 細胞内; 発生生物学; 胚発生; 表面分子

## 画像データ



SHB 抗体を使用した HUVEC 細胞溶解液のウエスタンブロット分析。

